

令和 5 年 11 月 27 日

広島大学 75+75 周年記念事業
第 32 回ペスタロッチー教育賞
表彰式・記念講演を開催します

広島大学教育学部とペスタロッチー教育賞実行委員会は、優れた教育実践を行っている個人・団体を顕彰する第 32 回ペスタロッチー教育賞の表彰式及び記念講演を令和 5 年 12 月 21 日（木）に東広島キャンパスで開催します。

記

受賞団体：特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園（みはらしだいがくえん）[名古屋市中川区]

表彰式・記念講演

日 時：令和 5 年 12 月 21 日（木）12:50～14:20
表彰式 12:50～、記念講演 13:20～

場 所：広島大学教育学部 K201 講義室
（東広島市鏡山一丁目 1 番 1 号）

主 催：広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会
後 援：株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社

プログラム：

- ・主催者挨拶
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・祝 辞
株式会社もみじ銀行頭取 小田宏史氏
- ・表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・記念品贈呈
株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡島鉄也氏
- ・記念講演
特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園
見晴台学園大学学長 田中良三氏
見晴台学園中学・高校長 藪 一之氏

※記念講演終了後、記者会見を実施いたします。

※これまでの受賞者一覧等は、本学ホームページをご覧ください。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/about/ed_tokusyoku/pestalozzi

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木
Tel：082-424-7190 FAX：082-424-3478
E-mail：ed-ken-zai@hiroshima-u.ac.jp



第32回ペスタロッチー教育賞表彰式及び記念講演

- 日 時 令和5年12月21日(木) 12:50~14:20
表彰式 12:50~
記念講演 13:20~
- 場 所 広島大学教育学部 K201 講義室
(東広島市鏡山一丁目1番1号)
- 主 催 広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会
- 後 援 株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社
- 受賞団体 特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園

プログラム

- 1 開会の辞
- 2 主催者挨拶
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長(広島大学長) 越 智 光 夫
- 3 祝辞
株式会社もみじ銀行頭取 小 田 宏 史
- 4 表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長(広島大学長) 越 智 光 夫
- 5 記念品贈呈
株式会社中国新聞社代表取締役社長 岡 畠 鉄 也
- 6 記念講演
特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園
- 7 閉会の辞

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局 西木
TEL : (082) 424-7190
E-mail : ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

受賞団体

特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園（みはらしだいがくえん）



【第32回ペスタロッチー教育賞受賞団体紹介文】

第32回ペスタロッチー教育賞受賞団体に、特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 見晴台学園(みはらしだいがくえん)が選ばれましたので発表いたします。

【第32回ペスタロッチー教育賞 受賞団体】

特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園(みはらしだいがくえん)

【沿革】

見晴台学園は、1990年に発足した「学習障害児の高校教育をもとめる会」(後に「学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会」に改称)を中心として、名古屋市に無認可5年制高校を開校したことに始まる。中学校卒業後の学習や発達に困難さを持つ子どもたちに「学びの場」を保障するべく、2001年には青年部および卒業生支援のための自立支援センターを、2013年には高校・高等部卒業者のための見晴台学園大学を開設した。2018年から2020年には文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」を受託するとともに、2023年度からは高大一貫制とし青年期の生徒・学生のニーズに応じた教育実践に取り組んでいる。

(所在地：愛知県名古屋市中川区柳森町2708 板倉ビル)

【授賞理由】

見晴台学園は、中学校卒業後に自分に合った学びの場がなかった学習障害児・者の「学ぶ権利」の保障の重要性を早くから提起し、無認可の5年制高校や大学を設立することによって、制度の狭間であって光があてられてこなかった子どもたちの学びを支えてきた。今回はこの長年の活動が評価されての受賞となった。

インクルーシブな社会や学びへのアクセシビリティが注目される中、特別支援学校・学級の設置や大学への多様な進学機会の充実が進められてきた。その過程で「通常」学校・学級に通うことの難しい子どもたちの学びの場は特殊学校・学級として早くから制度的に整備されてきたものの、障がいの程度など様々な理由から通常学校に通うでもなく、また特殊学校に通うでもない子どもたちには、実質的な学びの場とその機会の保障はなされてこなかった。

こうした現状に対して、「学習障害児の高校教育をもとめる会」を発足させ、学習や発達に困難さを持つ子どもたちのための日本初の無認可高校を開校したのが見晴台学園である。同学園は、誰もが自分にあった学びを見つけ、「みんなが輝く」ことのできる学びの場をつくることで、とりわけ学びから疎外されてきた障がいのある青年たちの発達を保障してきた。「言語と数量」「自然と社会」「技術と人間」といった教科横断的なカリキュラムや「研究論文」の制作・発表、生徒・保護者・教師による「評価票」づくりなどの取組は、生徒一人ひとりがゆっくり・じっくり学びの場の創造を可能にしている。

2013年には「自分らしく豊かな人生を送りたい」と願う学習や発達に困難を抱える若者のために、法定外の大学も開学するなど、社会の中で周辺に置かれていた子どもや若者たちに手を差し延べてきた見晴台学園の取組は、貧児・孤児のためにシュタンツやイヴェルドンに孤児院を設立し、どの子どもにも教育の可能性を見てとったペスタロッチーの思想と実践に通じるものである。見晴台学園の長年の活動に対し、第32回ペスタロッチー教育賞を贈呈し、高く顕彰したい。

2024



広島大学75+75周年記念事業



第32回 ペスタロッチー教育賞 表彰式・記念講演

日時 令和5年12月21日(木) 12:50~14:20

12:50~ 表彰式 13:20~ 記念講演

会場 広島大学教育学部 K201講義室

参加の
お申し込み

QRコードまたはURLをご利用ください

申込期限:12月19日(火)

<https://forms.office.com/r/7weMwdM03H>



特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会
見晴台学園



1990年4月、無認可五年制高校(いわゆるフリースクール)として開校。中学を卒業後、自分に合った学びの場がなかった学習や発達に困難さを持つ子どもたちの教育の将来に展望を拓く期待をこめて『見晴台学園』と名付けた。2013年から高校・高等部卒業者の大学(4年制)を開設。2023年度から高大一貫制とし青年期の生徒学生のニーズに応じた「ゆっくり・じっくり・自分づくり」を大切にする学びの創造と実践に取り組んでいる。

ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー (1746年~1827年)



Johann Heinrich Pestalozzi

スイスの教育家・教育思想家。教育の機会を与えられていなかった孤児や貧困家庭の子どもを対象に、「頭と心と手」の全人的教育の重要性を唱え、自ら学校を開いて、その有効性を世に示した。著書「隠者の夕暮」他

ペスタロッチー教育賞

広島大学教育学部では、株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社の支援を得て、今日、我が国の極めて困難な教育状況の中で、優れた教育実践を行っている個人あるいは団体を顕彰するため、1992年に「ペスタロッチー教育賞」を創設しました。本賞は、ペスタロッチー精神に通じた教育実践を行っている個人あるいは団体に光を当て、その功績を顕彰することにより、もって現代の教育を見つめ直すきっかけとなることを期するものです。

お問い合わせ先

広島大学教育学部内 ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局

✉ ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp

☎082-424-7190

主催 広島大学教育学部 ペスタロッチー教育賞実行委員会
後援 株式会社もみじ銀行 株式会社中国新聞社

ペスタロッチー教育賞 歴代受賞者

	表彰式実施年度		個人・団体		備考
	(西暦)	(和暦)	教育賞	特別賞	
第1回	1992	H4	宮城 まり子		
第2回	1993	H5	谷 昌恒		
第3回	1994	H6	児玉 三夫		
第4回	1995	H7	山田 洋次		
第5回	1996	H8	NHK名古屋放送局テレビ番組「中学生日記」制作スタッフ		
第6回	1997	H9	本吉 修二		
第7回	1998	H10	黒柳 徹子		
第8回	1999	H11	社会福祉法人広島新生学園		
第9回	2000	H12	丸木 政臣		
第10回	2001	H13	佐野 浅夫		
第11回	2002	H14	社会福祉法人似島学園		
第12回	2003	H15	九里 茂三		
第13回	2004	H16	中野 光		
第14回	2005	H17	アグネス・チャン		
第15回	2006	H18	津守 眞		
第16回	2007	H19	昇地 三郎		
第17回	2008	H20	松田 実		
第18回	2009	H21	西谷 英雄		
第19回	2010	H22	金森 俊朗		
第20回	2011	H23	高谷 清	あしなが育英会	※1
第21回	2012	H24	一般社団法人「実践人の家」		
第22回	2013	H25	奥地 圭子		
第23回	2014	H26	水谷 修		
第24回	2015	H27	渡辺 和子		
第25回	2016	H28	湊 晶子		
第26回	2017	H29	中本 忠子		
第27回	2018	H30	和田 晋、児童養護施設舞鶴学園		※2
第28回	2019	R1	大石 由紀子		
第29回	2020	R2	村井 実		
第30回	2022	R4	MISIA		※3
第31回	2022	R4	北川 聡子		
第32回	2023	R5	特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 見晴台学園		

※1 第20回を記念し、「教育賞」に加え「特別賞」も授与。

※2 1個人と1団体に「教育賞」を授与。

※3 コロナ禍のため2021年度ではなく、2022年度に実施。